

静岡がんセンターで診療を受けられる皆様へ

当院では、下記の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の連絡先へお問い合わせ下さい。

| | | | | | |
|--------------|--|---------|----|-----------------------|--------|
| ① 対象者 | 2018年1月から2023年3月までに下部直腸癌に対しロボット支援超低位前方切除術を受けた患者さんの内、吻合部が肛門縁から2cm未満であった患者さん | | | | |
| ② 研究課題名 | ロボット支援超低位前方切除術における経肛門吻合部縫合補強の有用性に関する検討 | | | | |
| ③ 実施予定期間 | 倫理審査委員会承認日 ~ | 2026 | 年 | 3 | 月 |
| ④ 実施機関 | 静岡がんセンター | | | | |
| ⑤ 研究代表者 | 氏名 | 坂井義博 | 所属 | 大腸外科 | |
| ⑥ 当院の研究代表者 | 氏名 | 坂井義博 | 所属 | 大腸外科 | |
| ⑥ 使用する検体・データ | 手術前の状態、手術の内容、術後の経過について、電子カルテ上のデータを使用します。 | | | | |
| ⑦ 他機関への提供 | ⑧ 有（国名、機関名、試料・データ名） 無 | | | | |
| ⑨ 提供先の責任者 | 氏名 | | 所属 | | |
| ⑨ 目的 | 直腸癌手術において、直腸超低位前方切除術における術後の縫合不全は危惧すべき合併症です。当院では縫合不全予防対策として、腸管吻合部が肛門近傍となる直腸超低位前方切除術に対して、手術中の判断で肛門側より吻合部の縫合補強をおこなっています。今回の研究では、肛門側からの吻合部の縫合補強と術後縫合低下の関連について検討することを目的としました。 | | | | |
| ⑪ 方法 | いままで受けてきた治療・手術や、術後の検査にかんする情報を匿名化（個人がわからないようにした状態に）して調査し、統計学を利用してまとめます。研究に使用したデータは院外に持ち出すことはありません。 | | | | |
| ⑫ 倫理審査 | 倫理審査委員会承認日 | 2023 | 年 | 10 | 月 31 日 |
| ⑬ 公表 | 研究成果は学会や医学論文などに発表されることがあります。 | | | | |
| ⑭ プライバシー | 本研究では、名前・住所・電話番号等の個人情報を使用しません。 | | | | |
| ⑮ 知的財産権 | 知的財産に関する権利（特許権等）は、静岡がんセンターの規程に従って取り扱います。 | | | | |
| ⑯ 利益相反 | 本研究は企業との共同研究ではなく、企業からの資金提供もありません。 | | | | |
| ⑰ 資料の参照 | 本研究について詳しく知りたい場合は、臨床研究事務局までご連絡ください。 | | | | |
| ⑱ お問い合わせ | 連絡先 | 臨床研究事務局 | 電話 | 055-989-5222（内線 3379） | |
| | 事務局にて、お問い合わせ内容をお伺いいたします。 後日、あらためて研究者より直接回答いたします。 | | | | |

本研究のノウハウやアイデアに関する情報については公開できませんのでご了承下さい。

静岡がんセンター病院長